事務事業評価シート 事業程別 継続 単独 事業類型 施設の管理・運営 1次評価のみ対象分 | コード | 名 | 10 | 農業集落排水事業特別会計 | 10 | 事業費 | 10 | 施設管理費 | 10 | 施設管理費 | 10 | 施設管理費 | 10 | 施設管理費 | 14 | 平田地区排水処理施設維持管理費 | 評価者 | 廣田 稔 | 連絡: 会計 就項目 細々目 事業名 1260 平田地区排水処理施設維持管理費 全市的に生活排水処理施設を整備する 基本施策 22 施策 3 農業集落排水の推進と整備

コード 名称

担当部課

703500

大山田産業建設課

李章	の計画	·内容							
_					対象等(何が	、誰が)			成果(どうなるのか)
事業目的	平田処	理区域P	内の住民	ŧ	(対象件数	平田地区 計画戸数106戸		現実施設の適正な維持管理によって、家庭等から雑排水やし尿が、きれいな水に浄化されて排出され ことにより、地域の公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全が図られる。
開	始年度	昭和	61	年度	関連事業	公共下水	道事業、特定環境保全公共	下水道	事業
終	了年度	平成		年度	根拠法令·要綱等	浄化槽法	··水質汚濁防止法·伊賀市農	農業集落	客排水処理施設等の設置及び管理に関する条例·同施行規則
本年度事業内容	浄化処	心理施設の 心理により 数収事務			長置等の保守・点検 ・処分	I		2	状 兄变 它 它

整備内容 1 建設用地 2 建設面積(延床面積) 3 規模·構造 4 総事業費 垂 海学体制

108

基本計画該当頁 行革大綱の重点事項番号

運営体制		
1 運営主体 委託先	☑ 直営 □ 指定管理 □ 民間委託 (施設保守·点検、汚泥処分は委託	£等)
2 配置(予定)人員	0.3	人
3 年間運営費	6,816	千円
4 市内の類似施設	農業集落排水処理施設 21施設 公共下水道、特定環境保全公共下水道施設 設	6施

事業実績									
活動指標	単位		実絲	責値	目標値				
7口至03日1京	+111		H17		H18	H19	H20		
施設保守点検(2回/月)		目標		目標	24	2/	24		
地政体引流技(2日7万)	ıı	実績	24	実績	24	H19 24 24 24 22 2 2 4 4 4 714 1200	24		
水質検査(2回/年)		目標		目標	2	2	2		
小貝快直(2回7年)	ы	実績	2	実績	2	2	2		
汚泥処分回数		目標		目標	4	4	4		
污泥处力回数	ы	実績	4	実績	4	24	7		
料金調定件数	件	目標		目標	714	1200	1200		
** 计 拉前足计数	1+	実績		実績	714	1200	1200		
		目標		目標	•				
		実績		実績	•				

1157

47

(内線)

連絡先

評價指標										
事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位		実終	責値		目村	票値		
争未の成木を兜も拍標	担保収定の与えり	半位		H17		H18	H19	H20		
	処理水の水質検査結果が、浄化槽法及び水質汚濁防止による排出基準、及び 施設の目標放流水質基準を満たしていることが重要であり、水質検査測定回数に	%	目標	100	目標	100	100	100		
孙山圣牛连风平(连风自致 / 规定自致)	対する達成回数の比率を指標とすることによって、適正な維持管理ができているかを把握できる。	70	実績	100	実績	100	100	100		
使用料収納率	適正な維持管理は、施設の健全な経営がなされて達成可能であり、維持管理経費の原資となる使用料の徴収率向上は、経営健全化及び適正な	%	目標	100		100	100	100		
(収入額/調定額)	能持管理の達成度の指標となる。、 ###		実績	100	実績	99	100	100		

	價												
評	価項目	ポイント	評価項目についてのコメント										
ц	必要性	4	公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全に寄与し、市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業である。										
1	4 汚水処理能力の保持には、適切な維持管理を継続的に行う必要がある。												
ì	達成度	3	排出基準内で放流し、区域内住民からの悪臭、水質汚濁等の苦情件数や施設の故障等による使用中止事件もなく、概ね適切に事業が遂行されている。										
\$	加率性	3	施設の機械・装置等の適切な点検・維持を励行することにより、動力費や修繕費等の低減を図る、委託業務の見直し等による委託料の減等コスト削減の工夫をする余地がある。										

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
Α	現状維持	平成19年度に機能強化事業の導入により、適切な維持管理を継続していく。

	年度								平成1	7年度	決算	内容	4	平成18	年度	決算	内容	7	平成19	年度	計画	内容		平成2	0年度	計画	内容
	牛皮							事業	内容	数量	単位	金 額	事業内	勺容	数量	単位	金額	事業「	内 容	数量	単位	金 額	Ą	事業内容	数量	単位	金額
進捗	委託	7	$\not \sim$				=	需用費 役務費				218	需用費 役務費				33	需用費 役務費				2,	57	需用費 役務費			(千円) 2,548 57
状	工事	×		\Rightarrow			業内容	委託料 その他					委託料その他					委託料その他				2,		委託料 その他			2,365 0
況						\	1																				
進	捗率																										
- ((%)							事業費	H(A)			2,629	事業費計	(A)			4,584	事業費前	†(A)			4,	970	事業費計(A)			4,970
		事業	投入。	人員				人件費	(B)	0.11	人	792	人件費(1	B)	0.31	人	2,232	人件費(B)	0.28	人	2,	016 .	人件費(B)	0.22	人	1,584
	フ	ルコス	.ት (A)+	(B)							3,421					6,816					6,	986				6,554

事業	費(人件費除く)の財源内訳				
(A)	事業費	2,629	4,584	4,970	4,970
	国庫支出金				
A	県 支 出 金				
り財	地 方 債				
北西	受益者負担				
内	そ の 他				
訳	一般財源	2,629	4,584	4,970	4,970
ш (計	2,629	4,584	4,970	4,970
備考	特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等	施設使用料	施設使用料	施設使用料	施設使用料